

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きつずすてーしょんKanade (児童発達支援)		公表日		R7年 3月 21日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	児童と放デイが同じ時間になるときはがトラブルにならないように机に置く仕切りやプレハブ部屋を使用しています	バギーに乗る児が増えたときに狭くなる可能性があります。不必要なものは置かず整理整頓をいつも実施します	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	より円滑で充実した支援方法を日々模索し仕組みづくりに努めています	適切な配置に努めます	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4	トイレでは踏み台や専用便器の設置、支援用机は高さ調節ができる仕様です。またバギー用の昇降機の設置、玄関の段差も小さくなるようブロックを設置しました	今後も児童に分かりやすく障害に応じた合理的な配慮を心がけていきます	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3	以前は指導訓練室の一角でお昼寝をしていましたが現在は別室（プレハブ部屋）を使用しています	児童に対し個別の部屋が必要と感じたときはスタッフ間で情報を共有し具体的な内容を聞いたうえで改善していきます	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	時間を決め毎日、利用児童の支援会議を実施しています、その中で業務についても話し合っています	支援会議の中で問題点や日々思っていることを皆で出し合い解決に向けて努力していきます	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	第三者による外部評価は現在行っていません	今後、業務・支援改善のために実施検討中です	
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	定期的に社内・外研修を実施しています	研修当日にお休みの職員に対し研修内容を撮った動画を視聴してもらいます。全員が研修に参加できる体制をとっていきます		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4	地域の児童発達支援センターの方とは子ども支援部会を通して関わりを持たせてもらったり、直接見学に行った事もあり、助言をいただいています	今後も、問題など自事業所だけでは解決しない場合、そのような機会を多く行っていきます
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	子ども食堂（Kanade食堂）を通して地域とつながるようにしています	保育所やこども園、幼稚園との子ども同士のつながりについては今後どのようにしたら良いか検討していきます	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	今まで電話や来所していただいたときにお話を聞いたり相談にのることがありました	来年度から事業所の研修に入れる予定となっています	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	以前は、夏祭りで保護者・きょうだいを呼んだり子ども食堂のイベントの一場で親子でポテトサラダ作りを実施しました	今年度は座談会、保護者・きょうだいを呼んでの夏祭りを計画しています
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	2	危険なことがあったとき気づいた人がヒヤリハットを記入することになっています	ヒヤリハットの記入を徹底していきます その内容を皆で共有し改善策を検討していきます
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	2	マニュアルの整備、委員会・勉強会を定期的に実施しています	現在対象者はいませんが、対象になるかもしれない児童について気になった事を皆で話し合い検討していきます

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	きつずすてーしょんKanade（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 27日		～ 令和7年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 10名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 27日		～ 令和7年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生きる基盤になる生活習慣や人とのかかわりを大切に支援しています。その中でその子の強みを引き出し育てられるよう寄り添った関わりをしています 保護者と密な情報交換やコミュニケーションを心がけています	生活に関わる事（食事、排泄、整理整頓、生活リズム）を中心に一つ一つ丁寧に取り組んでいます。人との関わりの中で喜怒哀楽を共に味わい人とのつながりを意識できるような支援をしています。その子に必要な体を育てる運動や遊びを実施しています	事業所内のみで支援の話し合いを深めるだけでなく保育所、幼稚園、相談支援事業所等の関係機関と連携を取り情報交換や共通理解を深め支援の充実にも積極的に努めています
2	医療的ケア児の受け入れが出来る事業所であり看護師が常駐しているため訪問看護で実施していることやリハビリで実施していることが継続して行えます	喀痰吸引や吸入、胃ろうの管理・注入、投薬その他看護業務を実施しています。また座位が保持できなったり拘縮のある児童については実際にリハビリを見学させていただき安全を考慮した上で事業所のできる範囲で座位の練習や関節を動かしたりしています	医療的ケアが必要な児童を持つ保護者さんにとって安心・安全に信頼された事業所にする必要があります。一つ一つのケアを適切・正確に実施し観察も密に行い異常の早期発見に努めていきます
3	緊急時の対応を皆で共有し異常の早期発見と対応ができるように心がけ訓練しています	入所時に緊急時の対応を保護者さんからお聞きし紙面にまとめて事業所内の職員がいつでもみれる場所に貼付しています。また実際起こった時を想定した訓練も実施しています	送迎の車中やお散歩時の発作も想定していますが対応人数が少ない中で適切な緊急時対応することが求められます。そのような場合でも緊急時対応ができるよう定期的に訓練を継続する必要があると感じています。訓練実施し対応の見直しなども実施していきます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催、保護者同士の交流など、家族への支援。また、きょうだい向けのイベントの開催や、きょうだい同士の交流の機会	事業所が土日祝祭日休みになってしまうため、保護者さんの都合の良い日を合わせるのが難しいと感じていました	座談会や夏祭りの開催で保護者同士の交流を持ってもらおうと考えていますがやはり忙しいご家族などの中で決まった家族のみの参加とならないような配慮が必要と考えています
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会	近隣地域とのかかわりの場合は子ども食堂を通じて行っているが、保育所や認定こども園、幼稚園との交流を考えたことがなかったです	保護者さんの意向やニーズをふまえ、今後は地域だけでなく近隣の保育園や認定こども園、幼稚園と連携をとりかかわりが持てる取り組みを考えて行く必要があると思います
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きっすずーしょんKanade (放課後等デイサービス)		公表日		R7年 3月 21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	3	床が汚れた場合にはすぐに拭き取りアルコールにて消毒をしている	床が木製のため汚染物が染み込み恐れがある。既存の床の上に敷ける染み込まない床材マットを検討中	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	8	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	毎年1回保護者に向けて事業所アンケートを実施しています。	ご指摘内容を真摯に受け止め、今後の改善に向けて努力していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	1			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。 ※4つの基本活動とは①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供	6	1		放課後等デイサービスガイドラインは事業所内誰でも読めるよう設置しています。必要時には確認し個別支援計画に取り入れています
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	地域の児童発達支援センターの方とは子ども支援部会を通して関わりを持たせてもらったり、直接見学に行った事もあり、助言をいただいています	今後も、問題など自事業所だけでは解決しない場合、そのような機会を多くとって行きたいです
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	5	子ども食堂（Kanade食堂）を通して地域とつながれるようにしています	放課後児童クラブや児童館との交流については今後どのようにしたら良いか検討していきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	年に3回ほど実施している子ども支援部会に主に管理者が出席させてもらっています。	今後、会議の内容を事業所スタッフに報告していきます。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	今まで電話や来所していただいたときにお話を聞いたり相談にのることがありました	来年度から事業所の研修に入れる予定となっています
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	4	以前は、夏祭りで保護者・きょうだいを呼んだり子ども食堂のイベントの一環で親子でポテトサラダ作りを実施しました	今年度は座談会、保護者・きょうだいを呼んでの夏祭りを計画しています
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1		

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	きつずすてーしょんKanade (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 27日		～ 令和7年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 27日		～ 令和7年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生きる基盤になる生活習慣や人と人のかかわりを大切に支援しています。その中でその子の強みを引き出し育てられるよう寄り添った関わりをしています 保護者と密な情報交換やコミュニケーションを心がけています	生活習慣の一つとして自分の荷物の整理整頓がしやすい環境づくりをし習慣付くよう支援しています。その子の成長、特性に合わせて今生活の中で必要になっていることを療育に入れ取り組んでいます。集団支援では人との関わりの中でルールや順番、相手の気持ちを考え、社会性も向上していけるよ	事業所内のみで支援の話し合いを深めるだけでなく小学校、中学校、相談支援事業所等の関係機関と連携を取り情報交換や共通理解を深め支援の充実に積極的に努めています
2	医療的ケア児の受け入れが出来る事業所であり看護師が常駐しているため訪問看護で実施していることやリハビリで実施していることが継続して行えます	喀痰吸引や吸入、胃ろうの管理・注入、投薬その他看護業務を実施しています。また座位が保持できなかつたり拘縮のある児童については実際にリハビリを見学させていただき安全を考慮した上で事業所のできる範囲で座位の練習や関節を動かしたりしています	医療的ケアを必要な児童を持つ保護者さんにとって安心・安全に信頼された事業所にする必要があります。一つ一つのケアを適切・正確に実施し観察も密に行い異常の早期発見に努めていきます
3	緊急時の対応を皆で共有し異常の早期発見と対応ができるように心がけ訓練しています	入所時に緊急時の対応を保護者さんからお聞きし紙面にまとめ事業所内の職員がいつでもみれる場所に貼付しています。また実際起こった時を想定した訓練も実施しています	送迎の車中やお散歩時の発作も想定していますが対応人数が少ない中で適切な緊急時対応することが求められます。そのような場合でも緊急時対応ができるよう定期的に訓練を継続する必要があると感じています。訓練実施し対応の見直しなども実施していきます

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学年や障がいの種類の違いがあってもニーズにあった支援が実施できることが必要だと思われます	利用児童が同じような年齢と障がいであれば同じ職員が支援できますがそれらが異なっていればニーズと支援の質を保ちつつ同じ職員が支援する事を考えると難しくなります。	利用児童の数で職員人数を設定するのではなく、利用児童の特性から職員の数を設定する必要があります。また職員一人一人のスキルのアップも同時に進めることが大切だと感じました。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催、保護者同士の交流など、家族への支援。また、きょうだい向けのイベントの開催や、きょうだい同士の交流の機会	事業所が土日祝祭日休みになってしまうため、保護者さんの都合の良い日を合わせるのが難しいと感じていました	座談会や夏祭りの開催で保護者同士の交流を持ってもらおうと考えていますがやはり忙しいご家族などいる中で決まった家族のみの参加とならないような配慮が必要と考えています
3	放課後児童クラブや、児童館との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会	近隣地域とのかかわりの場は子ども食堂を通じて行っているが、保育所や認定こども園、幼稚園との交流を考えたことがなかったです	保護者さんの意向やニーズをふまえて、今後は地域だけでなく近隣の放課後児童クラブや、児童館と連携をとりかかわりが持てる取り組みを考えて行く必要があると思います